

農業集落排水処理施設維持管理診断業務（運転診断）

運転診断は、対象処理施設に応じた運転管理方法を提示することによって、施設の問題点の改善を図ります。対象処理施設の生物処理の状態によっては、処理の改善に時間が必要な場合があるため、経過報告をして頂くことで、更なる管理方法の提示を行います。

また、処理方式や地区状況によっては、下記の報告書目次（例）以外の検討項目が加わる場合があります。

報告書の目次（例）

1. 業務の目的
2. 調査方法
3. 立ち会い者
4. 処理施設概要
 4. 1 設計条件
 4. 2 フローシート
5. 処理施設の処理状況
 5. 1 流入汚水量の状況（一年間の電磁流量計のデータと降水量等）
 5. 2 維持管理の状況（聞取り調査、過去数年間の汚泥搬出データ等）
 5. 3 水質の状況（過去数年間の流入水及び放流水のデータ等）
6. 現地調査結果（水質測定、水質分析、汚泥調査等）
 6. 1 処理水槽の水質測定
 6. 2 採取試料の水質分析
 6. 3 汚泥管理と活性汚泥の沈降性
 6. 4 運転手法の検討（対象処理方式の標準的な運転手法を、必要に応じて記載）
7. 運転条件の検討（対象処理施設の運転条件を提示）
 7. 1 流入負荷と MLSS の検討
 7. 2 ばっ気風量とばっ気時間の検討
 7. 3 汚泥管理方法の検討